

令和3年度事務事業評価表

事務事業名	高齢者食事サービス活動支援			担当課	小地域福祉活動推進課	事業種別	補助
				担当係	小地域福祉活動推進課		
開始年度	昭和61年度	計画体系	2 区民同士のたすけあい活動を広げます ⇒ (1)地域支えあい活動の充実				
根拠法令等	高齢者食事サービス活動助成事業実施要綱・同実施細目						
事業区分	事業	社会福祉	拠点	在宅福祉事業	サービス	食事サービス事業	
事務事業目的	高齢者食事サービス(会食・配食)を実施するボランティア団体等に対し、食材料費等経費の一部を助成することで、ひとり暮らし高齢者等に対する声かけ・見守り活動の充実を図る。						
実施内容	<p>【概要】</p> <p>1 対象 65歳以上のひとり暮らし高齢者に対し食事サービス(配食)を実施しているボランティア団体等</p> <p>2 対象数 配食サービス実施団体:5団体 ※ 会食サービスを実施していた1団体は令和元年度(平成31)で活動終了。</p> <p>3 助成内訳 (1)調理協力員謝礼(会食:@2,820円、配食:@1,410円) (2)配食協力員謝礼(@470円) (3)食材料費(@100円) (4)什器・用具等(@14円) (5)衛生費(@480円)</p> <p>4 実施方法 調理に適する場において実施団体の構成員が調理し、対象者宅に届け、安否の確認と孤独感の解消を図る。</p> <p>5 その他 利用者負担は、1食あたり300円。利用者がボランティア団体等に直接支払う。</p>						

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	H31	R2
成果	利用者数		人	目標	7,820	7,820	7,820
				実績	7,564	7,156	1,280
成果	実施団体数		団体	目標	6	6	5
				実績	6	6	1
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

備考	
----	--

コスト内訳(千円)			H30	H31	R2
収入	特定 財源	区補助金	3,656,996	3,475,423	561,394
	一般財源	(a)	407,500	388,350	388,350
支出	事業費	(b)	3,656,996	3,475,423	561,394
	職員人件費	(c)	407,500	388,350	388,350
		業務量(人)		0.05	0.05
	間接費	(d)	0	0	0
	調整額	(e)	0	0	0
	退職給与引当		0	0	0
			0	0	0
			0	0	0
(控)コスト対象外		0	0	0	
トータルコスト	(f=b+c+d+e)	4,064,496	3,863,773	949,744	

単位当たりコスト(円)	H30	H31	R2	
単位の定義	利用件数(件)			
実績数値	(g)	7,564	7,156	1,280
単位あたり社協単コスト	(a/g)	54	54	303
単位あたりコスト	(f/g)	537	540	742

実施状況に対する評価	<p>会食サービス実施団体はメンバーの高齢化などにより、平成31年度をもって活動を終了した。配食サービス実施団体においても、メンバーの高齢化、及び、新たなメンバーの確保が困難なことから、配食実施地域の範囲縮小を検討している団体もある。また、活動継続の難しい団体もあり既存利用者への対応が課題である。</p> <p>これまでは、本事業の実施により利用者の安否確認や孤独感の解消が図られてきたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため区の所有する調理室が使用できず、4団体が活動休止となり、ふれあい・交流する機会は大幅に減っている状況である。</p>
今後の方向性【改善】	<p>実施団体の体制強化を図るため、各団体の意向も踏まえて、様々な機会を活用した周知および専門ボランティア(食事サービスボランティア)講座の実施などにより、新たな人材の発掘・育成に努めながら事業を継続していく。</p> <p>既存団体の強化に加え、新規「団体」の養成を行い受講者がそのまま実施団体となり活動できるような講座の実施等を検討する。また、地域を限定したボランティアの養成を行うことで、食事サービスの活動継続困難な団体やその利用者への対応を行っていく。さらに食事サービスの実施されていない地域へサービスの範囲を広げることに努める。</p> <p>コロナ禍で活動休止の状況が続いているため、団体へ電話等による状況確認を行い、活動再開に備える。</p>